

## 全米一の大きなレンズ…トレイルコースとしても有名

### マカプウ灯台 (ハワイ)

ハワイ諸島で最も多くの観光客が訪れるオアフ島に、全米一の大きさを誇る灯台がある。マカプウ灯台だ。標高約130㍍の場所に立つため、霧で光が遮られないよう塔はあえて低く設計された。

では、なにが全米一の大きさかということ、レンズだ。その大きさは等級外で、日本の犬吠埼灯台や、室戸岬灯台などでは、等級最大である第1等レンズ(高さ2㍍59㍍)が使われ、その姿は美しく迫力があるが、マカプウ灯台のレンズは「ハイパーラジエント」と呼ばれるもので、高さ12㍍(約3㍍65㍍)の巨大レンズなのだ。

この場所は島の南東端にあたり、北米

やメキシコからホノルル港を目指す船にとって重要な指標となる。多くの海事関係者から要望が寄せられ、1909年に初点灯した。

しかし、稼働したばかりの頃、まだ記載されていない海図を使用する外国船が、別の灯台と誤認し座礁する事故が起きた。日本の巡洋艦「出雲」もこの謎の光に惑わされそうになったが、航路が確認できるまで沖合に留まることを選択し、大事に至らなかったという。

この岬はトレイルコースとしても有名だ。展望台までが約2㍍。30分ほどで登れるため、ハイキングにちょうどいい。眼下に広がる海を眺めていると、この時期はザトウクジラが沖に現れる。灯台の敷地は立ち入り禁止となっているが、今



後は観光客の見学を受け入れる予定もあると聞く。そうになったらまたぜひ訪れて

レンズの大きさに驚愕したい。

(つづく)